

授業科目 発達心理学

【担当教員名】 遠山 孝司	対象学年	2	対象学科	言語（1年）	社会（2年）
	開講時期	前期	必修・選択	必修	選択
	単位数	2	時間数	30	

【<概要>又は<一般目標：G I O>】

発達という概念はかつての「誕生から成体まで」から「生涯にわたる変化」へととらえ方が変化している。  
 いずれの分野においても、人とかかわる職業においては、後者のような視点を持って理解・支援にあたることが重要である。  
 そのためにはまず人間の「発達」という変化の一般的な傾向と個人差の存在を理解しておくことが必要となる。  
 以上より本講義では、発達心理学の基礎的な内容を生涯発達の枠組みで把握することを目的とする。

【<学習目標>又は<行動目標：S B O>】

- ① 「生涯発達」の視点で人間の「発達」をとらえる。
- ② 人間の諸活動と諸能力の発達に関して理解を深める。
- ③ 人間の段階的な発達に関しての理解を得る。
- ④ 発達のスピードや方向における一般的な傾向からのずれとして発達障害（障害）を理解する。
- ⑤ ①～③をふまえ、福祉分野における「発達支援」について、考察する。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	オリエンテーション+発達ってなんだろう？ 発達の定義	1,5	オリエンテーション, 講義, 課題
2	発達には何が影響するの？ 遺伝と環境の影響	1,2	講義, 課題
3	子どもの発達への環境の影響	2	講義, 課題
4	人はいくつになっても成長し続ける！+迷い続けるのも人生だ 発達段階説	3	講義, 課題
5	グループワーク（中間レポート）	3	グループワーク
6	青年期は「覚悟」を決める時期？ アイデンティティ	3	講義, 課題
7	発達における個人差 発達障害（障害）1	4	講義, 課題
8	発達における個人差 発達障害（障害）2	4	講義, 課題
9	分別がつく, という事	2	講義, 課題
10	他人の気持ちがわかるようになる, という事	2	講義, 課題
11	道徳的になる, という事	2,3	講義, 課題
12	考え方, 感じ方の発達	2	講義, 課題
13	発達の最後に	1,5	講義, 課題
14	グループワーク（最終レポート）	1,5	グループワーク

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書 (必ず購入する書籍)				
参考書	講義内で適宜紹介する。			
その他の資料	教科書は特に指定しない。必要に応じてレジュメ・資料を配布する。 資料は主としてオンラインで配布する予定。			

【評価方法】

出席状況・レポート・グループワーク  
・参加態度などを総合して評価する

【履修上の留意点】

一部の講義の受講, ミニレポート, レポートの提出, 配付資料の受け取り, グループワークなどをオンラインで行う予定である。ノートPC, イヤホンまたはヘッドホン, LANケーブルは初回から毎回忘れずに持ってくるように。